



イキイキ笑顔のお手伝い

スマイル薬局

スマイル平方薬局

〒526-0033長浜市平方町1188

TEL.0749-64-3922

FAX.0749-64-3933



こころやからだについての相談窓口

まずは話してみませんか？あなたの悩みについて一緒に考えましょう。



相談窓口はこちら

見守る人「ゲートキーパー」

◇ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。一人ひとりが、身近な人の様子を気にかけて、こころのサインに気づくことが、大切ないのちを守ることに繋がります。

気づき

傾聴



ココロン

つなぎ

見守り



ゲートキーパーの
詳細はこちら



医療法人 きとうクリニック

内科・血液内科

☎0749-65-5100 長浜市宮司町 コープながはま2階

いつでもお気軽にお越しください。
 総合内科:健診で異常を指摘された方。糖尿病、高血圧、高脂血症、花粉症、
 不眠症、季節性のカゼや肺炎、インフルエンザや新型コロナなど
 血液内科:貧血などの赤血球の病気、白血病やリンパ腫などの疾患、
 血小板減少や血管性浮腫などの希少疾患の診断・治療。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	●	●	●	/	●	◎	/
16:00~19:00	●	●	●	/	●	/	/

【受付時間】 午前11:30まで(土曜日12:30まで)、午後18:30まで



予約用



BAMBA CLINIC

ばんば内科・消化器内科

胃カメラ・大腸カメラ検査 お気軽にご相談ください

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:00	○	○	/	○	○	○	/	/
13:00~16:00	★	★	/	★	★	★	/	/
16:30~19:00	●	●	/	●	●	/	/	/

○=診療・胃カメラ ★=胃・大腸カメラなど ●=診療
 【受付時間】午前=11:30まで 午後=18:30まで 【休診日】水曜日・日曜日・祝日

TEL.0749-53-3600 長浜市高田町11番33号 スギ薬局高田店内

さわだ眼科

長浜市を中心に地域密着
 患者さまが安心して
 診察を受けられる
 眼科を目指しております



診療時間 月火水木金土日祝

9:30~12:00 ●●●/●▲/

15:00~17:30 ●●●/手術/

▲: 9:00~12:00 金曜日午後:手術
 休診日: 木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

長浜駅より徒歩14分 Pあり

〒526-0053 長浜市宮前町10-7 TEL.0749-59-3988



介護でお困りごとは ございませんか?

介護事業を通じて、感謝と笑顔が
 あふれる事業所を目指します!



福祉用具の
 レンタル・販売

住宅改修

居宅支援事業
 (ケアプラン作成)

お困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください!

リーフール

TEL 0749-63-7880

●営業時間 9:00~17:30
 ●定休日 土曜日/日曜日/祝日

滋賀県指定事業所
 介護保険指定事業所番号 2570300018

長浜市勝町372-1



荻野 医院

内科
 呼吸器内科
 消化器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	●	●	●	●	●	●
午後 17:00~19:30	●	●	●	×	●	×

TEL 0749-82-5177 長浜市木之本町木之本 2012

いつもと違う頭痛



今までに経験したことのないような激しい頭痛で嘔気、嘔吐を伴う場合は、くも膜下出血の可能性があります。即刻、専門の医療機関での受診が必要です。また、高熱や麻痺を伴ったり、ろれつ困難となった場合も、直ちに医療機関に相談してください。一瞬のためらいが手遅れをもたらす可能性があります。

薬

について



薬は病気を治すためのものですが、
 使用上の注意を無視して、いい加減
 に扱うと害になる場合もあります。
 薬についてきちんと理解して、正しく
 利用することが大切です。



正しい薬の使い方

薬をもらうとき

- ・病状、アレルギーの有無、妊娠の有無を伝える。
- ・ほかに飲んでいる薬があれば伝える。
- ・薬の飲み合わせ(相互作用)によって、副作用が出る場合があります。
- ・漢方薬も含めて2種類以上の薬を使用するときは、自己判断せず、必ず医師や薬剤師に相談しましょう。

大衆薬を使用するとき

- ・説明書をよく読む。普段使っている薬でも、新しい情報が追加されていることもあります。購入するたびに読む習慣をつけましょう。
- ・病状が改善されない場合は薬局や薬店に相談または、医師の診断を受けましょう。

水や白湯と一緒に飲む

- ・コップ一杯の水か白湯(ぬるま湯)で飲む。薬の成分が水で薄められ、粘膜への刺激を少なくします。
- ・お茶、ジュースなどほかの飲み物を水代わりにする人もいますが、薬の作用が抑えられたり、逆に効きすぎたり、副作用の危険が高まる場合があるのでやめましょう。アルコールで飲むことは必ず避けましょう。